

日本学術会議 総合工学委員会原子力安全に関する分科会
原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会（第 24 期・第 4 回）
議事録

1. 日 時 令和元年 11 月 26 日（火）14:30～17:30

2. 会 場 日本学術会議 5 階 5-A（1）会議室

3. 議 題

- 1) 前回小委員会の議事内容の確認
- 2) ワーキンググループの活動状況
- 3) 報告案の検討
- 4) その他

4. 配付資料

資料 1 第 24 期第 3 回小委員会議事録

資料 2 事故と環境情報の交流ワーキンググループ第 24 期第 3 回議事録

資料 3 報告「東電福島第一原発事故による環境汚染の調査研究の進展と課題」（案）

5. 出席者（委員名簿順、敬称略）

大塚孝治、森口祐一、伊藤好孝、内田滋夫、内田俊介、恩田裕一、
篠原厚、高橋知之、谷畑勇夫、鶴田治雄、星正治
（以上 11 名）

6. 議事概要

0) 開会にあたって

小委員会委員の出席者が 11 名であり、委員 22 名のうち国内出張 2 名を除く定足数（10 名）を満たしていることが確認された

1) 前回小委員会（第 24 期第 3 回）議事録の確認（資料 1）

森口委員長より、前回議事録について概要の説明があり、事前にメールで承認されていることが確認された。

2) ワーキンググループの活動状況

資料 2 に基づき、内田（俊）委員より、事故と環境情報の交流ワーキンググルー

プ第3回会合について報告があった。また、伊藤委員より、放射線・放射能測定データアーカイブズワーキンググループ第3回会合及びアーカイブ活動の現況について報告があった。

3) 意思の表出に向けた報告骨子案の検討

資料3に基づき、森口委員長より、報告「東電福島第一原発事故による環境汚染の調査研究の進展と課題」(案)について説明があり、報告(案)の修正を行った。主な議論は以下の通りである。また、修正を行う担当委員の割り振りを行った。

- ・全体として一割程度文章を削減する必要がある。
- ・要旨はまとめと同じにする必要は無く、メッセージとして残す内容を中心に記載する。
- ・図は本文内には入れず、参考図として取り扱う。
- ・農林水産物や飲料水について加筆する。
- ・学術機関と行政機関の連携は、学術機関の独立性と中立性を主軸に記載する。

4) その他

本日の議論に基づいて各担当委員が修正を行い、11月29日午前までに森口委員長に送付する。森口委員長が最終的にとりまとめて、12月2日に開催される原子力安全に関する分科会に報告する。その後、分科会委員からのコメントに対応して修正を行う。

以上